

各企業等の社会貢献

学校図書の実願

平田建設が士幌町に寄付金

少しでも本に興味もって

【帯広発】子どもたちに本の楽しさを。平田建設（士幌、野中栄忠社長）は二十四日、図書購入費として役立ててもらおうと、士幌町に十万円を寄付し



長谷川専務（右）が小林町長に目録を手渡した

た。地域に根差す建設企業として、同社が力を注ぐ地域貢献活動の一環。目録を贈呈した長谷川雅毅専務は「子どもたちの読書離れが進む中、少しでも本に興味をもってもらえたら」と期待を込めた。

同社は平成十七年度から

目を数える。

町では、寄付金を中央中学校の図書購入費に充てており、「平田文庫」と名付けられた本棚には、辞典や小説など豊富な種類の本が並んでいる。昨年度までの寄付金で購入した本は、合計七百六十六冊に及ぶ。

毎年、地域貢献の一環として、町に対して図書購入費を寄付。長年にわたる活動は今回で十四

この日の贈呈式には、長谷川専務、今野敦常務、業務部の荻野喜貴氏の三人が出席。役場の職員も見守る中、長谷川専務が小林康雄町長に目録を手渡した。目録を受け取った小林町長は「子どもたちの学校生活の充実に、大きな役割を果たしていただいていることに感謝したい」と述べた。その上で、学校図書

充実に関心を示すことを約束した。一方、長谷川専務は「インターネットが普及し、子どもたちの読書離れが進む中、少しでも本に興味をもってもらえたら」との思いで寄付を続けている。読書を通じて様々な知識を身に付けてもらえれば」と期待を寄せた。